

■サマリー

課題

朝夕の職員配置の都合上、今年度より7時間45分から8時間の労働時間に変更になった。しかし職員は、子どもと一緒に食べる食事の時間以外は休息は取れておらず、精神的また、肉体的にも負担が大きくなっている。

目標

全職員が一日最低20分間は、保育や業務を離れた休憩時間が取れるようにする。

成果

行事などが差し迫っていない時には休憩時間が確保できた（ただし全職員とは限らず）。休憩を取ることで一息つく時間が取れ、また、日頃話をする機会がない職員ともコミュニケーションが取れた。ただし、行事・会議などがある時、研修や休みの職員がいる時には職員配置の都合上、休憩時間を取ることは難しい。

課題の意図・詳細説明

1日の労働時間が7時間45分から8時間に変わり、職場での拘束時間は9時間になった。しかし、休息は子どもと一緒に食事を食べる時間しかないことは変わらず、保育中は常に子どもから目を離さず、神経を張り巡らせているので、職員の精神的、肉体的負担は大きくなった。また、持ち帰り仕事も増え、負担に拍車をかけている。完全に保育から離れ、リラックスする時間を設けることで、より質の高い保育へと繋がっていくことが望まれる。

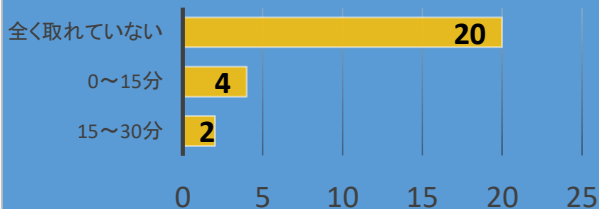
目標の意図

本来の休憩時間を取得するのは現在のところ自園では不可能だと思われる。昼寝の時間帯を利用し、職員が交代で休憩を取るようにするが、ひとり20分間の休憩であれば、保育や業務に支障がないと思われる。20分を目標にして、完全に保育から離れて休憩を取れるようにする。

具体的な取り組み 12月

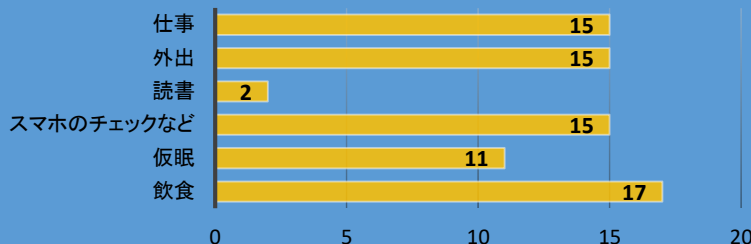
- 12月 2日(月) 主任・副主任・チーフ会議を開き、今回の課題について提案し、了承を得る。
 5日(木) 現在の休憩時間の取り方などについてのアンケートを配布し、回答してもらう。（～13日）
 19日(木) 職員会議でアンケートの集計結果を発表する。
 アンケート結果を受けて、これを具現化するにはどうしたらいいかを各クラスで話し合ってもらおうようにする。

Q 1：現在とれている休憩時間は？

Q 2：（Q 1で全く取れていないと答えた人のみ回答）
どうして休憩時間が全く取れていないと思いますか？

- ・会議があつたり、その代替で他クラスへ入る
- ・園内外の清掃や環境整備がある
- ・子どもの生活リズムに合わせると部屋を離れない
- ・一人担任の為
- ・午睡中にたくさんの事務作業などがある
- ・保育や行事の準備が常にある

Q 3：休憩時間にしたい事は何ですか？（複数回答）



具体的な取り組み 1月

1月25日に保育発表会を控えており、準備などで休憩時間について考える余地はなく、年明けから取り組みは全くしていません。発表会終了後の27日(月)に再度各クラスにどのように進めていくのがよいかを話し合ってもらい、30日(木)までにしらせてもらう。

*この時に出た意見…

- ◎休憩は欲しいが、1時半過ぎにはお昼寝から起きる子どももいるので保育室から離れられない。
 - ◎会議などが多く、その時以上児には未満児から職員が入るから、未満児も職員が足りない。
 - ◎毎週金曜日の園内清掃の時にはどうするのか
 - ◎休憩室がないが、どこで休憩を取るのか。アンケート結果では『えほんのへや』が多かったが、『えほんのへや』は月曜日は使えないがどうするのか 等々…
- 『休憩はとりたいが…やはり無理でしょ!』という否定的な意見がほとんどだった。

具体的な取り組み 2月

- 2月3日(月) チーフ会議を開き、具体的方法を話しあい、10日(月)よりそれを実施することを決める。
4日(火) 主任に前日の会議について報告し、了承を得る。
10日(月) 交替で休憩を取るようになる。

* 私たちの休憩時間の取り方

- ◎ 12時55分から行っていた昼礼を、8時30分からの朝礼に変更する。
- ◎ 休憩場所は 『えほんのへや』 月曜日は使用できないので、ホール内のテラスを使用する。
- ◎ 要望があったお茶などは「お茶セット」を作り、移動出来るようにしておく。
- ◎ 未満児クラスは12時30分～
食事+休憩…30分間 を交替で一人/日
休憩のみ …20分間 クラスからひとりずつ交替で取る。
- ◎ 以上児クラスは13時～ 休憩のみ20分間を取る。
職員が5人の時は、13時～年長児担任(1人)と年少児担任(二人のうち一人)、その後交替で。
職員が4人の時は、13時～年長児担任(1人)、その後交替で。
- ◎ 毎週金曜日は全体での園内清掃を行っているの、今のところは休憩は取らない。
- ◎ 毎週土曜日は日頃より職員数も子どもの出席数も少ないので、上記の時間に限らず、各自が空いている時間に取る。
- ◎ 事務室・給食室は上記の時間に限らず、業務上の都合のいい時間に取る。

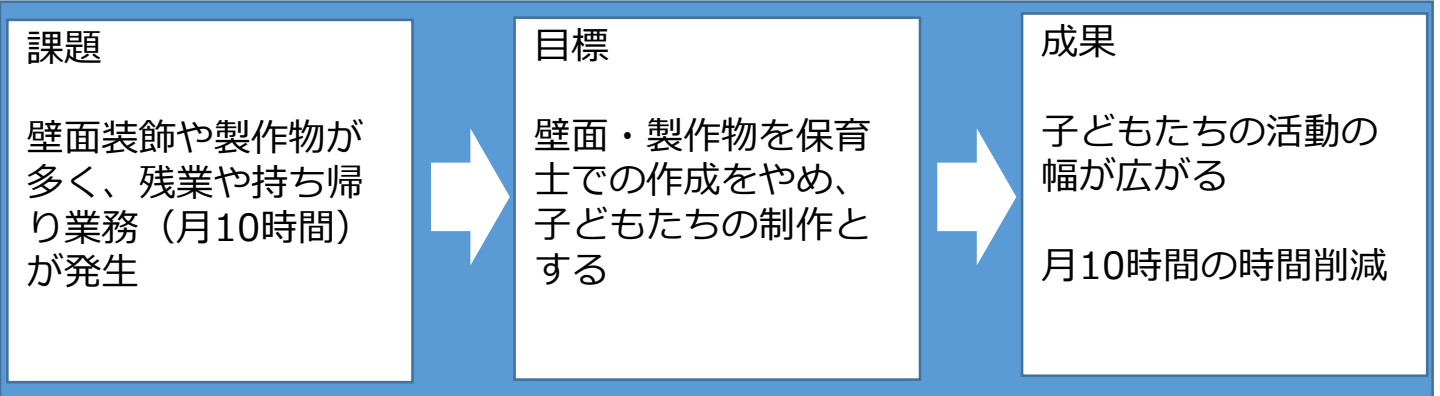
* 2週間実施したのちに出た感想・意見

- ◎ 気持ちの切替が出来るので良い。(0～5歳児)
- ◎ 朝から気を張っているの、少しでもリラックスできる時間が出来、ありがたい。(0～5歳児)
- ◎ 他のクラスの職員とも話す時間が出来、コミュニケーションが取れ、情報交換できる。
(4, 5歳児)
- ◎ 昼寝の間にしておきたい仕事が重なる(特に行事前など)と時間が気になって、休憩どころではないなる。(1～5歳児)
- ◎ 日によってはみんながとることは難しい。一人担任の職員は特に多くなるのではないか。それは不公平感にならないだろうか。(1歳児、3歳児)
- ◎ 昼礼を朝礼に変えたが、伝達などに支障はないものの、実施方法はこれでよいのだろうか。
(1, 4歳児)
- ◎ 昼寝する子どもを寝かしつけている時間も休憩とみなしていいのでは?(2歳児)
- ◎ 休憩をとることで保育がおろそかになっていないか。

《まとめ》

「休憩なんて取れない」と諦めていたが、今回取り組んでみて「やれないことはない」と分かった。ただ、今回は比較的行事準備などが少ない時期であったので取り組みやすかったが、それでも『時間が気になって休憩どころではない』という意見が出ているので、運動会や発表会前などはやはり難しいのかな、とも思われた。「保育がおろそかになるのでは?」の声もあり、園全体での理解の難しさも感じる一面もあったが、日頃交流の少ない職員との間でコミュニケーションが取れたり、また、気持ちの切替が出来、リフレッシュして保育に臨むことが出来るのは、保育の質の向上のためにも必要なことであると感した。

■サマリー



課題の意図・詳細説明

壁面や製作物が多く、通常保育への負担となっており、常態的な残業や保育士の退職につながっている

目標の意図

壁面装飾や制作物を保育に結びつけ、子どもたちの**制作物**とすることで、時間削減（=効率化）と、保育の質向上を図る

具体的な取り組み 12月

5歳児クラスでミーティングを行い、1月からの壁面装飾を取りやめを決定
保護者にも意図伝えを含めた、周知を実施

具体的な取り組み 1月

具体的な取り組み 2月